

# 松江市再生可能エネルギービジョンの構成（案）

## 第1章 ビジョンの概要

### ●背景・目的

- 【背景】CO2をはじめとする温室効果ガスの排出量が増加し、地球の温暖化が進んでいる。
- ➡2015年に採択された「パリ協定」では世界全体の平均気温の上昇抑制などを目標としている。
  - ➡日本では、2020年、菅内閣総理大臣（当時）が「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言した。
  - ➡同年、松江市は「2050年ゼロカーボンシティ」を表明し、「松江市環境基本計画（2021.3策定）」で脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現を重点目標に掲げている。
- 【目的】再生可能エネルギーの普及・導入に向けた活用の方針を示し、エネルギーの構造転換を図る。
- ➡エネルギー学習等の推進、新たな産業分野の開拓、再エネによる発電量の拡大等。

### ●位置づけ

- ・国や島根県のエネルギー政策や環境政策との整合を図る。
- ・「松江市総合計画」、「松江市環境基本計画」の下位計画とし、「松江市環境基本計画」の重点目標である脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現のための個別計画と位置づける。
- ・現行の「松江市地球温暖化対策実行計画」の改定を見据え、再生可能エネルギーの利用促進に関する事項を示す。

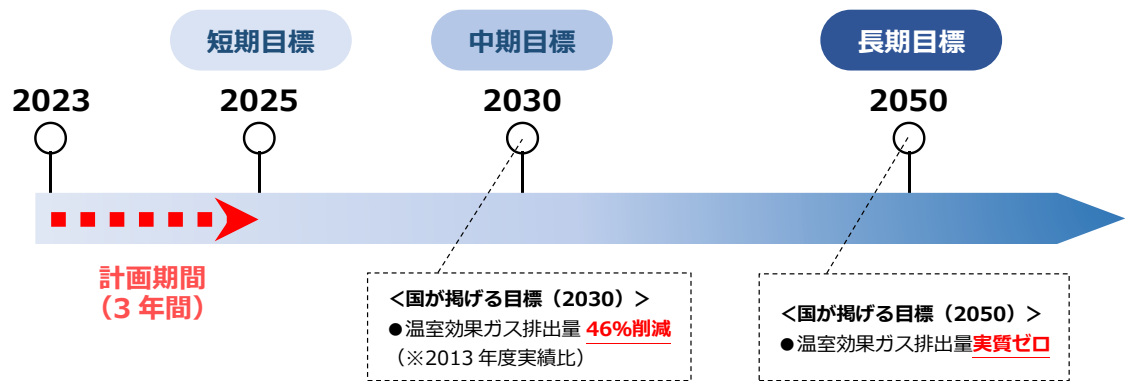
### ●計画の対象

- （1）地域：市内全域
- （2）再生可能エネルギー源：①太陽光・風力・水力・地熱・バイオマス（※1）  
②水素・燃料アンモニア・海洋エネルギー（潮力・波力）（※2）

（※1）再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第2条第3項に規定されたエネルギー源  
（※2）長期的な視点から取り組みの対象とするエネルギー源

### ●計画期間・目標年次

- （1）計画期間：2023（令和5）年度～2025（令和7）年度
- （2）目標年次：短期目標を2025年、中期目標を2030年、長期目標を2050年



## 第2章 再生可能エネルギーを取り巻く動向

### ●世界の動向

- ・パリ協定について（内容・目標）
- ・各国の再エネ導入率の比較

### ●国内の動向（国・県）

- ・目標、再エネ導入状況・取り組み内容
- ・制度について（FIT制度・電力の小売全面自由化など）

## 第3章 本市の現状と課題

### ●本市の現状・課題

- ・各種データ、調査などから分析した松江市の現状・課題を整理。（根拠となる詳細なデータなどは巻末の資料編に記載）

## 第4章 再生可能エネルギーの導入促進・普及に向けて

### ●基本理念・将来像・目標

### ●基本方針・取り組み内容

- ・第3章で示した課題を解決するための基本方針および取り組み内容を示します。

## 第5章 ビジョンの推進

### ●推進体制・各主体の役割

- ・市民、事業者、行政の各主体の役割を示します。

## （資料編）

### ●再エネに関するデータの整理

- ・FIT導入量、再エネ賦課金の推移、小売電気事業者数の推移など

### ●各種調査の結果

- ・アンケート調査、ヒアリング調査、ワークショップなど

### 「松江らしい」再エネビジョン【例】

#### 「松江らしい」「松江ならではの」の…

- 循環 リユース太陽光パネルの活用
- 景観 景観を妨げない開発・整備
- 観光 観光モビリティの脱炭素化
- 産業 ……
- 教育 ……